

平成 21 年 8 月 12 日

各 位

会社名 カラカミ観光株式会社
代表者名 代表取締役社長 片山 達哉
(JASDAQ・コード9794)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
西村 孝孔
電話 011-598-3225

継続企業の前提に関する注記に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 8 月 12 日開催の取締役会において、当社の平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信及び四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、前連結会計年度において、多額の当期純損失を計上したことに伴う純資産の大幅な減少により、当社グループが借入しているシンジケートローンの財務制限条項の一部に抵触しました。当第 1 四半期連結会計期間末現在におきましても、シンジケートローン 14,782 百万円について財務制限条項の一部に抵触しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく以下のとおり対応しております。

1. 収益力の強化

当社グループは引き続き景気低迷が続くものと予想し、人件費、広告宣伝費、燃料費等の削減を行うとともに、仕入部を新設し、料飲材料費を中心としたコスト削減を徹底し、売上減少に耐えうる収益構造に変えるべく努力しております。その結果、営業費用を前年同期比 864 百万円削減しております。また、営業面につきましては、ホームページの充実等インターネット販売の強化、法人・団体営業の強化、リピーター客への営業強化を実施しております。また、平成 21 年 4 月に東京営業所、大阪営業所を新設し、道外客の道内への誘致等、集客を強化し、売上の回復に注力しております。

2. 資金繰りの見通し

シンジケートローンにつきましては、平成 21 年 8 月末を目途に、契約条件を変更すべく金融機関と交渉中であります。資金繰りにつきましては、当第 1 四半期連結会計期間末現在、現金及び預金残高は 3,650 百万円であり、当面十分な資金を確保しております。また、主要金融機関からの支援も得られる見通しにあります。

しかし、これらの対応策について金融機関の最終的な意思表示が行われていないため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

以上